



標 茶 町

発行 標茶町農業委員会
編集 広報委員会
川上郡標茶町川上4丁目2番地
電話 485-2111
(内線171・172)
FAX 485-4111

農業委員会だより



—農地パトロールの様子—

主な内容

農業委員活動を通じて.....	P. 2
女性農業委員・農地利用最適化推進委員等	
活動強化研修会に参加して.....	P. 2
女性農業委員会活動強化研修会に参加して.....	P. 2
全道農業者年金研究会に参加して.....	P. 3
農地等のあっせんについて.....	P. 3
農業者年金受給者の方へお知らせ.....	P. 4
編集後記.....	P. 4



農業委員会総会は毎月 **25** 日に開催を予定しています

- 許可申請書、農用地利用集積計画の申出、現況証明願書は、当月の10日までに農業委員会に提出してください。

農業委員活動を通じて

昨年は元号が変わり令和元年ということで天皇の即位の礼の一連の行事も無事に終わり、令和2年は2020東京オリンピックに向け御祝ムードで行こうとしていた矢先、中国で発生した新型コロナウイルスが全世界に広がる勢いにあります。

昔はアメリカがくしゃみをすると日本が風邪をひくといわれた時もありましたが、今では中国での生産が鈍ると全世界の経済に大きな影響を及ぼす見本を見た気がします。北海道でも発生しておりますが、とにかく早い終息をしておりますが、とにかく早い終息を願うものです。

そんな中、本町の農業を守ってきた皆さんの高齢化、後継者不足といつた問題が深刻であります。その解決の一つとして新規就農を進めることも必要であります。その為にはそれぞれの地域の農地あつせん時の理解も大変大事になります。

昨年は、農地中間管理事業が見直され、さらに入・農地プラン策定においては農業委員会の参画が求められるなど農業委員会が関与する業務が追加されるなどいたしました。農地農業を守る法律を遵守しながら地域の発展に寄与しなければなりません。

昨年末に農林水産省より示された農業生産基盤強化プログラムで謳われているように肉用牛および酪農の生産基盤強化が位置づけられることから意欲ある生産者が将来にわたり希望を持つて酪農経営に取り組んで行くために集中的に取り組むこととしており、補正

予算などにより、支援策に力を入れることとされました。

今年度は、農業委員の改選の年であり、農業問題全体を見ると女性や若い農業者の皆さんのご意見が大変大事になってしまいます。農業委員として活躍して頂きたいと思っていました。

農業委員の仕事は、農業者年金の普及、加入促進、農業後継者の花嫁花婿対策、農地の耕作放棄地の未然防止、解消など本町農業全体に対する問題提起など多岐にわたります。本町は大根生産も盛んであることから畑作支援も大事になります。

本町農業の中長期的な成長を考えながら農地行政に努めたいと思っております。今後とも町民の皆さんのご理解とご協力を願い申し上げます。

(農業委員 佐瀬 日出夫)

女性農業委員・農地利用最適化推進委員等活動強化研修会に参加して



女性農業委員活動強化研修会の様子

女性農業委員活動強化研修会に参加して

今回、都合により、「女性農業委員活動強化研修会」に行つきました。

女性農業委員の研修会なので場違いと思いつらの参加でしたが、女性農業委員の活躍はどういったことが大事なのかといつ興味深い話の講演でした。講師である林美香子さんのお話はパワーポイントの不都合にもかかわらず淡々と話され、引き込まれました。ホクレンの監事もされてるそうで今後の活躍

でゆっくりと過ごす休暇を取るグリーンツーリズムは、地産地消を取り入れ、農村のビジネスとして、食品加工、直売所、農家レストラン、農家民宿、農業体験等、食農教育の大切さと農村の理解を促進していくことが大切とのことでした。これからは勇気をもつて、一歩踏み出す生活者の視点で物事を考えていくことが女性農業者には重要です。現在、多くの人が物の豊かさよりも「心の豊かさ」を求める、レジャー、余暇に視点をおいて、働く目的が変化してきています。継続して実践していくことが大事であると話されていました。その後、事例報告がありました。新冠町農業委員佐々木碧氏による「女性農業委員としての活動について」です。酪農学園大学を卒業後、実家にて就農して、今年で11年目です。ピーマン、アスパラ、育苗ハウス、その他の野菜「春玉ねぎ」「夏野菜」露地野菜、これらは、軽トラ市や直売所で「みいやん農園」の名前で販売しています。佐々木さんは26歳から女性農業委員として活躍し、現在32歳です。また、学校に出向いて農業の勉強を小学校の子供たちに指導しています。お礼として学校給食を食べて帰るそうです。子供たちは佐々木さんの農業委員としての話を耳をすまして聞いてくれるそうです。子供たちが成長して、いつか農業のことを思い出してくれることを願っています。子供たちが成長して、いつか農業のことを思い出してくれることを願っていました。農業委員になつて何もわからない歯がゆさや、自分で何も言えない気持ちになつたり、ほかの委員さんが何気なく言つた言葉が引っかかつたりしたことあります。直売所に来てくれる

お客様さんや農家の先輩、仲間から「頑張って。応援しているよ」の声を聞いことがあると思ってこれからも頑張つていきたいとのことで心強いパワーをいただきました。何事においても前に向かっていく姿はすばらしいと思いました。

(農業委員 甲斐やす子)

を期待しております。日本の農業は今まで以上に都市生活者や消費者との連携を図っていくべきと考えているそうとして農村と都市が共生する地域づくり（地域再生）を多くの人に関心をもつていただきたいそうです。本町で開催する研修会等にも林さんを呼んでみてはと考えたところです。

次は32歳の女性農業委員さんの活動の報告でした。女性農業委員は少数ですが、農業の外を見よう、出る杭になると、農業で苦しむ姿ではなく「農業を楽しむ姿」を伝えられたらと言つてました。そのとおりだと思います。

ちょうどこの原稿を書く前に農業新聞に掲載されていた農業ジャーナリストの記事に目がとまりました。「農村は人口減少と生産基盤の脆弱化がさらに行進した。生き残った農業者の所得向上は実現したかも知れないが、さびれた地域にこれでいいのかと思つて立返り大規模経営体も小規模経営に立返り、「地域農政」を考える時期ではなかろうか。地域の意見を同じテープで話し合い、何が今、求めらるべき不足しているのか。現場を走り回つて、人としてアウトソーシングを地域農政に取り入れたい」という内容で、ネットでアウトソーシングのメリットを調べてみたところ、メリット1 企業競争の強化。メリット2 仕事の効率化、スピード、品質のアップ。メリット3 肥大化した組織をスリム化することが出来る。難しい言葉がありますが…。そこで自分も農地集積によるコントラ事業、TMRセンター、哺育、育成預託事業、担い手を育てる

を期待しております。日本の農業は今まで以上に都市生活者や消費者との連携を図っていくべきと考えているそうとして農村と都市が共生する地域づくり（地域再生）を多くの人に関心をもつていただきたいそうです。本町で開催する研修会等にも林さんを呼んでみてはと考えたところです。

次は32歳の女性農業委員さんの活動の報告でした。女性農業委員は少数ですが、農業の外を見よう、出る杭になると、農業で苦しむ姿ではなく「農業を楽しむ姿」を伝えられたらと言つてました。そのとおりだと思います。

ちょうどこの原稿を書く前に農業新聞に掲載されていた農業ジャーナリストの記事に目がとまりました。「農村は人口減少と生産基盤の脆弱化がさらに行進した。生き残った農業者の所得向上は実現したかも知れないが、さびれた地域にこれでいいのかと思つて立返り大規模経営体も小規模経営に立返り、「地域農政」を考える時期ではなかろうか。地域の意見を同じテープで話し合い、何が今、求めらるべき不足しているのか。現場を走り回つて、人としてアウトソーシングを地域農政に取り入れたい」という内容で、ネットでアウトソーシングのメリットを調べてみたところ、メリット1 企業競争の強化。メリット2 仕事の効率化、スピード、品質のアップ。メリット3 肥大化した組織をスリム化することが出来る。難しい言葉がありますが…。そこで自分も農地集積によるコントラ事業、TMRセンター、哺育、育成預託事業、担い手を育てる

酪農ヘルパー事業等を少数地域で目指し、さらに食品加工、直売所、農家レストラン、農家民宿なども目指してみたいと考えたところです。まず、仲間が必要ですが（笑）。自分は長く酪農ヘルパーをしています。Dineetを立ち上げから携わり15名ほど仲間もいましたが、今一度、地域から創成できるアウトソーシングを作りたいと思いつつあります。いずれ農業委員として飲食店開業者の意見等を参考にしたいと思つてます。いざれ農業委員として事例発表できればよいと思つています。今日は休みなのでコーヒーショップで原稿を書いてます。カフェエラテ大好きなので（笑）。

（農業委員 大泉 義明）

全道農業者年金研究会に参加して

農地等のあつせんについて

すでに皆様もご存じかと思いますが、農業者年金制度は平成13年12月まで賦課方式でしたが平成14年1月からは積立方式に年金制度に変わっています。農業委員会では、毎年1月から2月にかけ、農業者年金研修会及び年金相談会を開催し受給対象者さんの個別相談に対応しています。また、毎年10月から11月にかけては農業者年金制度の普及、加入推進にご協力頂いている所です。近年は、若い後継者、若奥様方の加入強化を推進しているところです。

さて、今回、北海道農業者年金協議会主催の研究会に参加してきました。「老後に備える生活設計とマネープラン」と題し講師・プランDO代表須藤

臣氏のお話をきかせて頂きました。近年話題になつて、人生100年時代を生きるために、これから老後生活に求められることは①経済、資産寿命をいかに延ばすか②健康寿命をいかに延ばすか③孤独の回避の3点についてお話をありました。現在私たちが加入している国民年金（老齢基礎年金）に上乗せとして、農業者年金と一般生命保険（終身年金）を比較してみると農業者年金がいかにお得か、自分の夫婦の年金生活を想像して頂きたいと思ひます。もし、出来るなら一般生命保険（終身年金）を見直して考えてみるはいかがでしょうか。

（農業委員 笛木 真二）

- 農地等のあつせんについての結果、農用地利用集積計画により譲渡した場合は、800万円の特別控除。
- あつせんなどにより農業経営基盤強化促進法に基づく買入協議により農地中間管理機構に譲渡した場合は、1500万円の特別控除。
- あつせんの結果、農用地利用集積計画により譲渡した場合は、800万円の特別控除。
- あつせんなどにより農業経営基盤強化促進法に基づく買入協議により農地中間管理機構に譲渡した場合は、1500万円の特別控除。



○農地等のあつせんについての結果、農用地利用集積計画により譲渡した場合は、800万円の特別控除。

○農業委員会では、農用地等を「売りたい、買いたい」「貸したい、借りたい」「交換したい」という農家の間に立つてあつせんします。この事業を利用して優遇措置があり、農家にとって有利で安心できる制度です。

○農地あつせん事業に該当するには、買受者が次の要件を満たしていないければなりません。また、認定農業者が優先されます。

○農業経営に従事すること。

・権利取得後の経営面積が、農業委員会の定める基準面積を超えること。

・農業経営の資本装備が適正な水準であると認められること。

・農業振興地域整備計画に定める農用

農業委員会では、農業後継者のパートナーとの出会いの場を提供する「標茶町ニューホーム推進協議会」の事務局を担っています。標茶町農業協同組合と連携し町内や札幌での交流会、他の市町村と連携して行っている「北海道農業青年と関西女性との交流会」など企画・運営を行っております。

幸運なカップルが誕生した時の喜びは非常に大きく、様々な課題を工夫しながらより良い催しにしていきたいと努力しています。

今後も交流会形式に拘らず、新たな企画を考えさせていただきたいと思っています。ご要望などありましたら、お気軽に農業委員会事務局にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

▼税制面の優遇

保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。保険料をかけている若い時も、受給する時も、万が一の死亡一時金も税制的に優遇されています。

標茶町参考賃借料について

3年に一度改正される標茶町の参

詳しく述べては、農業委員会事務局・標茶町農業協同組合農業振興課へお問い合わせください。

また貸借期間が満了した場合も、再度適格な相手に貸し付ける必要があります。

今年に入り新型コロナウイルス感染が広がりはじめ、釧路管内にも感染者が出るなど感染が拡大しております。今現在有効な治療薬や予防薬がないことから、できる限りの感染予防をとつていただきたいと思います。

〈年金対象農地の扱い〉

誰かに農地を貸して「経営移譲年金」を受給されている方の農地は年金対象地となっています。この農地を適格でない相手に売ったり貸したりしてしまうと、年金の支給が停止することができます。

受給者の方へお知らせ

参考賃借料につきましては、参考賃借料改定協議会で協議され、農業委員会で決定いたします。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、3月開催予定の協議会が延期となりました。このため、当面は、現在の参考賃借料を適用することといたします。新たに参考賃借料が決まりましたら広報しへお知らせいたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

編集後記

農業委員会法の改正により新

たに農業委員となり、今年が任期満了となりますことから今号が現任者の最後の農業委員会だよりとなります。この3年間、委員として様々な活動や行事・研修会等に参加したこと、農地の取り扱いや農業者年金など、農業に従事するうえで必要なことや老後に備えることなども併せ企画し、お知らせしてきましたが、皆様いかがでしたでしょうか。

残り4カ月となりましたが、委員一同業務に邁進する所存でありますのでよろしくお願ひいたします。

この号が皆様に届けられるところ、新型コロナウイルスの感染が収束に向かっていますことを願っております。

農業者年金の 6つのメリット

▼保険料への国庫補助制度

毎週金曜日発行 B3版8~10頁
購読料:月700円[送料、税込み]

全国農業新聞は農業委員会組織が発行する農業総合専門誌です。
『週刊』の時間を生かし、わかりやすくまとめています。
さらに全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。
購読のお申し込みは農業委員会事務局まで。

標茶町ニューホーム推進協議会の活動

国民年金だけで老後の生活は大丈夫? 夫婦2人の高齢農家の生活費は、月額約24万円必要と総務省の家計調査で推計されています。国民年金の年金額は、月額約13万円ですので、つまり、10万円程度不足ということになります。老後の備えは、ぜひ、「農業者年金」で!

▼加入要件は3つだけ

20歳以上60歳未満、国民年金第1号被保険者、年間60日以上農業に従事

少子高齢化に強い仕組み 加入者が自らの保険料を積み立てて運用され、毎年の運用収入によって年金額が決定されます。世代の人数の変化による影響を受けません。

農業者年金の受給者は年に1度(6月)、現況届を提出することになります。

提出しない場合年金の支給が停止することもありますので必ず提出してください。各公民館で提出することもできます。

参考賃借料につきましては、参考賃借料改定協議会で協議され、農業委員会で決定いたします。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、3月開催予定の協議会が延期となりました。このため、当面は、現在の参考賃借料を適用することといたします。新たに参考賃借料が決まりましたら広報しへお知らせいたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

全国農業新聞